

令和4年度第3回阿倍野区区政会議全体会でのご意見と対応一覧

【分類】

- ①当年度(4年度)において対応
- ②5年度に対応予定
- ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
1	R4.12	第3回区政会議全体会	【小中学生の防災研修について】 防災訓練の内容が10年以上変わっていない。毛布と竿による簡易担架は現実的ではなく布担架の配備にすべきである。また、小中学校の防災研修などで水消火器訓練をするが、子どもたちには消火器を使用して初期消火をするよりも119番通報の仕方や大人を呼ぶようなことを教えていくべきである。町内会にある消火器は期限切れのものが多くと思われるので改善していきたい。 (久保委員) (ご意見シートによる意見聴取)	災害時に救助資機材の不足や保管場所までたどりつけないなどの緊急事態に対応できるよう簡易担架の作成方法などお伝えしています。布担架は大阪市が各避難所と救助資機材ロッカーに一つずつ配備しています。阿倍野区として、布担架を含めて救助資機材の充実につきまして自主防災組織と相談させていただきながら検討してまいります。また、子どもたちの水消火器訓練はご指摘のようにその前に通報などをしなければならぬということがあることも啓発してまいります。	①
2	R4.12	第3回区政会議全体会	【中学校の防災研修について】 中学校の訓練の時に備蓄倉庫の整理という訓練を加えれば防災リーダー希望者なども増えるのではないかと。平日の学校が主催する防災訓練に防災リーダーや防災役員が参加できるようにすることで防災ジュニアリーダーの情報などを把握しやすくなるのではないかと。避難訓練だけではなく「救助」の体験として「要援護者の救助体験」なども組み入れてはどうか・中学校の年代で育まれる「誰かの役に立つ」という自己肯定感を得られる貴重な機会になると思う。 (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区では中学1年生で「防災研修」として防災講義を、2年生時に「防災訓練」として実技を中心とした訓練を行っています。2年生の実技の訓練の際には、地域防災リーダーや女性防火クラブに参加いただき、生徒たちの訓練のアシストや実技指導を担っていただいております。今後とも、生徒たちと地域の防災役員とのつながりの場として、また、生徒たちの貴重な経験の機会となるよう、訓練等の充実に向けて中学校や自主防災組織と相談しながら進めてまいります。	①
3	R4.12	第3回区政会議全体会	【中学生の防災意識について】 中学生にとって過大な負担なのかどうかについて中学生自身の考えを把握しておけばどうか。 (今井委員)	中学生の負担になっているのではという点について12月18日の第2回防災ジュニアリーダー研修実施後にアンケート結果では、研修の開催回数は2回または3回以上が良いと答えた方が88%であり、また、地域の訓練に参加したいかという設問では、全員が「参加したい」または「都合が合えば参加したい」と回答しており、防災ジュニアリーダー登録者の動機づけは維持されていると言えます。今後とも中学生への研修・訓練において効果の測定を行い、施策に反映してまいります。	①
4	R4.12	第3回区政会議全体会	【中学生の防災意識について】 経営課題1の課題認識の書き方では、大人の責任を棚上げして、中学生に防災活動などを押し付けるような表現に取られてしまっているのではないかと。 (吉本委員) 多くを学ぶべき中学生の年代で、自主的に望む者以外への防災教育の強化という表現は適切ではない。 (吉本委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区では、全10地域で、自主防災組織が構成されており、それぞれの地域で災害時の初期初動対応にあたっていただくことになっています。各地域では、自主的に企画・運営される住民参加のまちなか防災訓練などに取り組みされ、区役所も自主防災組織や防災リーダーなどへ第一に支援させていただいております。一方、学校や家庭など、日中に阿倍野区内におられる中学生と若年者層の方についても、災害時の初期初動対応で、後方支援などを担っていただきたいという趣旨で、若年者層の防災教育も重要課題と位置づけ、阿倍野区独自に防災ジュニアリーダー制度を創設し、登録いただいた中学生の研修・訓練を通じて、災害に対するスキルや知識をつけていただく取り組みを行っております。 中学時期は多くのことを学ぶ大切な年代であり、もちろん、本人の意思に反して防災ジュニアリーダー登録などを強制するような取り組みをするものではありません。授業として実施している防災研修と防災訓練につきましても、中学生の関心が高まるような内容や工夫を積み重ねていくという意味で「強化」と表現しておりましたが、「取組みを充実していく」という表現に修正いたします。	①
5	R4.12	第3回区政会議全体会	【防災ジュニアリーダーについて】 防災ジュニアリーダーが38名いるとのことであるが、氏名などのデータが地域の自主防災組織と共有されていない。登録されているジュニアリーダーと地域がつながることで一緒に防災活動をしていくことができると思う。 (高岡委員)	先日の常盤のまちなか防災訓練で防災ジュニアリーダーがロープ結び体験の指導者をやっていたのを見せていただき、防災ジュニアリーダーの活躍の場を与えていただけていることでやりがいにもつながると感じました。他の地域でも防災ジュニアリーダーの活動をサポートしていただきたいと思っておりますので、地域の自主防災組織に防災ジュニアリーダーの名簿を共有させていただきます。	①
6	R4.12	第3回区政会議全体会	【個別避難計画について】 寝たきりの方などの避難を支援する個別避難計画は、対象者のいろいろな個人情報の共有が必要であるが、それらの情報収集のマンパワー不足も指摘されている自治体もあると聞く。行政の持つ情報だけではなく、地域や社協、ケアマネージャーなど対象者と関わるいろいろな人から情報収集するような体制づくりが必要だと思う。 (北村委員) 個別避難計画についても、具体的な協力ができればうれしく思います。 (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取)	個別避難計画の策定について、今年度から常盤地域、阿倍野地域と連携して先行実施しています。先行実施する中で、課題や対応策について検討を行い、来年度からの本格実施に向けて各種関係先と連携して、ご意見やご提案をいただきながら取り組んでまいります。	①
7	R4.12	第3回区政会議全体会	【上町台地特有の危険性について】 上町台地上の利点として津波・水害の心配が少ないことはあると思うが、丸山地域あたりの切り立った段差のところの崩落など、台地特有の危険があるのではと思うが、絶壁部分の強度なども把握しておく必要があると思っている。 (今井委員)	阿倍野区の津波被害は想定されていませんが、湾岸区などでは水没するような場所もあり、阿倍野区内に避難される区外の方がおられるという想定のもと、金塚地域、丸山地域や晴明丘地域では近隣区からの受け入れ訓練も取り入れていただいております。また、上町断層帯による地震の場合は、阿倍野区管内では相当の被害が出るとされていますので、今後とも地域の訓練や学習会などの機会に啓発してまいります。 「絶壁部分の強度なども把握しておく必要がある」というご意見については、道路管理者である建設局など、所管部局に情報提供しました。認定道路については、異常及び危険個所の発見並びに緊急・応急処置の実施や道路交通に支障を与える障害物の除去など道路を常時良好な状態に保てるよう努めています。	①
8	R4.12	第3回区政会議全体会	【地域住民のまちなか防災訓練への参加について】 災害対策基本法では防災訓練の参加義務がうたわれている。法で定められた参加義務を踏まえて、今後の対応の考えを聞かせてほしい。 (北村委員)	災害対策基本法第6条では、個人での備蓄や防災訓練の参加を「努力義務」として規定しています。強制的な参加を求めるようなことは困難ですが、一人でも多くの方が参加していただけるよう自主防災組織と一緒に啓発手法の充実に向けて検討を行ってまいります。	①
9	R4.12	第3回区政会議全体会	【地域の救助資機材について】 防災広場にいろいろな救助資機材が入っていることを知らずにいた。実際の災害の時にどのように駆けつけ、道具などをうまく使えるかというような訓練が必要。また、薬剤の期限切れがあり、日々の管理を継続する難しさも感じた。 (今井委員)	緊急を要する災害時の救助活動で使用する救助資機材を住民に知っていただくことの重要性について、地域の防災役員とよく相談し、まちなか防災訓練などの際に人を助ける道具の周知やPRIに努めてまいります。 また、阿倍野区役所ホームページで、各地域の取組、とりわけ動画を活用した防災の取組などを紹介しており、引き続き効果的な事例などを各地域へ情報共有してまいります。	①

[分類]

- ①当年度(4年度)において対応
- ②5年度に対応予定
- ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
10	R4.12	第3回区政会議全体会	【備蓄物資について】 地域で備蓄しているアルファ化米の期限切れが発生してしまったことがあり、期限切れを承諾いただいたうえで防災役員に持ち帰ってもらったことがある。避難所備蓄の水などは区役所の管理が徹底されているということによいか。 (高岡委員)	災害時避難所に備蓄している水など、市として配備している物の使用期限については厳格に管理しております。期限が近付いたものは地域の訓練などで活用していただくなど有効活用に努めております。	①
11	R4.12	第3回区政会議全体会	【無停電電源装置について】 災害時には、いろいろな情報を共有しながら対応していくことが大切であるが、停電を想定すると地域災害対策本部の情報収集や発信力が相当ダウンすると思う。区役所などでは無停電電源装置が装備されていると思うが、地域の会館などでの整備について進めていただきたい。 (北村委員)	現在、全10地域に区役所から発電機をそれぞれ2台配備しております。1台はガスボンベ式の使いやすい機種で、もう1台は出力の大きいガソリン式のもので、現状では、その2台を活用して地域災害対策本部運営を行っていただきたいと思います。今後とも、電源確保の方策を検討してまいります。	①
12	R4.12	第3回区政会議全体会	【防犯灯のソーラー化について】 阿倍野地域では、防犯灯のソーラー化に着手した。区役所もソーラー化についてSDGsの観点からも検討してもらいたい。 (北村委員)	ソーラー防犯灯につきましては、その性能などについて検討・研究をしているところです。メリットやデメリットも整理したうえで、今後の施策につなげていきたいと考えています。	①
13	R4.12	第3回区政会議全体会	【子ども110番の家について】 前回の区政会議で、子ども110番の家に関する質疑を行ったが、その後の状況はどうなっているか。 (高岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	前回の区政会議以降、一部の地域を抽出して「子ども110番の家」の旗の掲出状況を調査しました。その結果といただきましたご意見を踏まえ、来年度早々にもすべての登録家庭に対して、現状確認を行うとともに、職員による実態調査を計画的に行い、旗等が劣化しているものや見当たらないような場合は、必要に応じて、直接働きかけを行ってまいります。	①
14	R4.12	第3回区政会議全体会	【自転車マナーについて】 年末の交通事故防止啓発で、歩道での自転車マナーが悪く、歩行者が歩道を歩くのが怖いというご意見があった。そういう状況があるということをお伝えしたくご報告しました。 (人見委員)	歩道での自転車マナー向上については、これまでも取り組んできましたが、ご指摘のような現状を改めて認識するとともに、より効果的なマナー啓発について阿倍野警察署と連携し取り組んでまいります。	①
15	R4.12	第3回区政会議全体会	【小学校の通学路について】 小学校の通学路に車止め(バリカー)を必要な個所に設置又はハンブやイメージハンブで路面標示を行なってはどうか。いずれにしてもできることを何かお願いしたい。 (八代委員) (ご意見シートによる意見聴取) 小学校の通学路の危険は以前からずっと指摘されているので、ガードレール設置を早く実現してほしいですが、すぐに難しい場合、速度制限だけでなく、道路の標識を工夫したり目印に絵を描いて運転手に注意喚起するなどの方法も考えられるのではないかと。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	区内小学校のうち、危険度の高い通学路の安全対策について、区長・阿倍野警察署長・平野工務所長等による協議を継続しています。今年度、その成果としては、丸山小学校北側のグリーンライン上に設置されていた消火栓標識を撤去しました。また、同小学校北側の北西交差点に十字の交差点標示と南西の三叉路にT字の交差点標示を設置し、それぞれ十字T字の周辺はカラー塗装の施工を完了しました。引き続き、安全性が確保できる方策を学校・阿倍野警察署・平野工務所と連携して検討してまいります。	①
16	R4.12	第3回区政会議全体会	【親子が楽しく遊べたり外出しやすい場所の提供について】 親子が楽しく遊べたり外出しやすい場所は、あべのにもいくつかあると思いますが、環境を整備して欲しいと思います(外出時におむつを替える場所等)。一度他市を見学されてはいかがでしょうか。 (吉本委員) (ご意見シートによる意見聴取)	阿倍野区では、親子が集える場等を紹介した子育てマップを広報紙や区ホームページに掲載しています。また、おむつ替えの場所も含め、小さなお子さまを連れての方などが安心して外出いただけるよう大阪市ホームページに交通バリアフリーマップ(天王寺・阿倍野地区版)に掲載しています。さらに令和4年8月からは、あべのキューズモールによる親子の遊び場の運営など、地域に密着した活動に取り組んでいただいております。今後いただいたご意見を参考に子育て世帯への支援を進めてまいります。	①
17	R4.12	第3回区政会議全体会	【子育て支援サービスの充実について】 子どもたちをしっかりと守れるように、ネットワークをさらに広げてほしい。また要対協の運営は、他区の取り組みの進んだ事例があると聞きますので、交流してほしいと思います。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	24区の子育て支援室チームリーダーを対象とした定例会議があり、特に近隣区との情報共有や意見交換を行っています。今後も他区の取り組みも参考にしながら、要保護児童対策地域協議会の運営を行ってまいります。	①
18	R4.12	第3回区政会議全体会	【災害時等要援護者名簿について】 支援が必要な高齢者の情報は、1年で変化していくので、災害時等要援護者名簿の内容については、少なくとも1年に1回は更新するよう、区社協やケアマネージャーと連携できる体制にしておかないと、役立たないと感じている。 (北村委員) (ご意見シートによる意見聴取)	災害時等要援護者名簿は、年2回、市役所から送られてくる行政情報をもとに、阿倍野区役所において更新を行なっています。その際、区社協の見守り相談室や地域福祉コーディネーターが把握している情報も反映できるよう連携して、最新の情報とするよう努めています。地域におかれましては、年2回の最新名簿の提供申請をお願いいたします。	①
19	R4.12	第3回区政会議全体会	【認知症当事者のニーズ把握について】 今年度の3月に認知症当事者の方の講演会を実施し、来年度も実施する予定との説明があり、本当にありがたいと思っている。ただ講演会をやって終わりというのではなく、当事者の発信によって、本当に地域の中で、小さな新しい活動がどんどんできていくような、そういうサポートを強化していただきたいと思っているので、よろしく願いしたい。 (中村委員)	委員からご提案をいただき、区社協のご尽力により、令和5年3月に、認知症の当事者の方から、区民の皆さまがお話を聞く講演会が開催されることになりました。委員ご指摘のとおり、本会の開催を契機に、当事者の方のニーズを把握し、支援の輪が広がっていくよう、区社協と連携しながら取り組んでまいります。	①
20	R4.12	第3回区政会議全体会	【ニーズに合った公的サービスについて】 経営課題3「誰もが自分らしく幸せに暮らされ続けるまち」のアウトカム指標が低いように感じますが、「縦割りのしくみで解決できない問題」にどのように対応するか、またどのように「ニーズに合った公的サービスに迅速につなげる」か、求められる地域の支援のあり方や、サービスを開発する必要についてもふれてもらいたい。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	アウトカム指標については、令和3年度に策定した区将来ビジョンの目標(令和6年度までに40%)を引用しており、令和4年度は43.2%(速報値)と目標を達成しておりますが、引き続き達成目標を維持できるよう、取り組みを進めてまいります。令和4年度より運営方針の3-1-2「受けとめる相談支援体制の充実事業」の項目に、複合的な課題を抱えている要援護者への対応として、総合的な支援調整の場(つながる場)の開催について記載しております。相談支援機関・地域・区役所が一体となったこの取組みにより、縦割りのしくみで解決できない問題やニーズに合った公的サービスに迅速につなげてまいります。	①

[分類]

- ①当年度(4年度)において対応
- ②5年度に対応予定
- ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
21	R4.12	第3回区政会議全体	【地域福祉活動について】 経営課題3の3-1-3「地域福祉計画の推進」の地域福祉活動に参加したことがあるデータには、参加したいと思っている人の割合や、どのような活動であれば、参加できるかもわかるとよいと思う。参加している人が2割を超えていることは評価すべきことかもしれない。また地域福祉活動をどう捉えるかを明確にしておく必要もある。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	今年度の区民モニターアンケートでは、58%の区民が「地域福祉活動に参加したい」と回答されています。参加したい地域福祉活動は、多い順に、子ども・子育てを支援する活動、地域住民の交流を支援する活動、地域防災に関する活動、防犯に関する活動などでした。 地域福祉活動にかかるデータや具体的な地域福祉活動の内容などを令和5年度阿倍野区事業計画書にわかりやすく掲載してまいります。	①
22	R4.12	第3回区政会議全体	【いきいき百歳体操について】 私の両親もい歳になってきて、体があまり動かなくなってきたことから、いきいき百歳体操等がもっと周知されればいいと思っている。どういったところで周知していますか。PRの場を考えていますか。 (東野委員)	いきいき百歳体操については、大阪市ホームページへの掲載や区役所1階保健活動において、リーフレット等を配布し、周知しています。 ホームページには、吉本興業株式会社と共同で作製した百歳体操の動画を掲載していますので、ご家庭においても体験することができます。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者の運動の機会が減っています。活動を休止されている地域もあるかとは思いますが、地域とともに進めていけるよう保健師による周知活動を進めてまいります。	①
23	R4.12	第3回区政会議全体	【地域におけるWi-Fi環境について】 各連合会館に、フリーWi-Fiは設置されていますか？ (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取) モバイルWi-Fiルーターの導入提案をしたが、地活協補助金ではSIMの購入が認められず連合予算で購入した。地活協予算が使えるよう工夫してほしい。 (北村委員)	各連合会館においては、地域活動協議会補助金等を活用し、平成31年度中には全10地域の会館にフリーWi-Fiを設置しております。 地域活動協議会補助金につきましては、要綱に基づき交付決定を行っておりますが、個人給付となる項目については対象外となっております。お申し出のモバイルWi-Fiルーターにつきましては、持ち運びが可能なことであることから、個人給付になるかどうかの判断が難しく、全10地域とも補助金の対象として認めておりません。ただし、事業・イベントで1~2日間の使用など期間を限定したモバイルWi-Fiルーターのレンタル費用は補助金の対象となります。	①
24	R4.12	第3回区政会議全体	【おさんぽmapの外国語版の発行について】 英語、中国語、韓国語とありますが、中国語には2つあり、いわゆる中国本土の方が読まれている「簡体字」、台湾の方が読まれている「繁体字」がある。日本の観光庁が発表している資料によると日本に来られた方の人数は中国本土から来られた方よりも台湾から来られた方が多いという発表にもなっている。「親しみやすい阿倍野、住みやすいまち」という点からも台湾の方も読みやすいなじみのある言葉、を作っていたら良かったと思った。 (東野委員) おさんぽmapの多言語化は4か国で十分だと思う。 わたしの希望としては、日本語で「ふりがなつき」や「図柄入り」、「点字付き」など印刷していただきたい。 (金光委員) (ご意見シートによる意見聴取) さらに文化面などバージョンアップを続けてほしい。阿倍野には文学関係の実績もたくさんあるので、さらに追加して欲しい。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	おさんぽmapには、歴史・景観施設と大阪府市の顕彰制度により受賞されたお店・企業などを掲載しています。 今後、おさんぽmapの多言語化などを進めるにあたって、いただいたご意見を参考に、観光客の動向や費用対効果も勘案しながら、取組を展開してまいります。	②
25	R4.12	第3回区政会議全体	【放置自転車対策について】 放置自転車について、違法駐輪したら、自転車保管場所まで取りに行く必要がある、取りに行ったときに、撤去保管料をいくら(2,500円)払わないといけないといった文言を明記でもした方が、放置自転車の撤廃、減少に役立つのではないかと考えているのですが、どうお考えですか。 (東野委員)	自転車を放置しないことの啓発に加え、仮に撤去された場合、自転車の引き取りや撤去保管料の負担などを含め、ペナルティを具体的に記載するなど今後の啓発の参考にさせていただきます。	③
26	R4.12	第3回区政会議全体	【事業効果の検証について】 令和5年度の運営方針を策定にあたり、特に長期的な目標の設定において、区民がどう感じているかを区民モニターアンケートで測定することが重要になると思う。 実際に掲げている目標について、目標達成しているか、また正しい方向性となっているかを、区民モニターアンケートにより早期に確認し、分析する必要があると思う。その分析に基づいて、事業のブラッシュアップやアプローチの見直しが必要になるのではないかと。 (高橋委員) アンケートの分析は、どの部署が行っているのか。また、専門家は携わっているのか。 (小寺委員)	阿倍野区将来ビジョンにおいて、令和3年度から6年度までの長期的な目標値を設定し、毎年、区民モニターアンケートを実施し、その進捗管理を行っています。 区民モニターアンケートについては、調査等の分野に精通している事業者へ委託し、年齢別や経年比較等の分析を行い、その結果をふまえ、各担当において各施策が効果的に実施されているかを検証します。今後も施策が効果的に実施され、目標値に近づいていくようブラッシュアップしてまいります。	①
27	R4.12	第3回区政会議全体	【事業効果の検証について】 経営課題2「2-2 子育てしやすく、すべての子ども・青少年が健やかに育つ環境づくり」の令和3年度、4年度のアウトカム指標に対する数値、満足度が高い。それに対して相談件数は年々増加していますとか、カウンセリングや助言の必要性が高まっていますとか、数値と下の現状の項目が全然相反するような傾向を出していると思うんですけど、この辺のギャップについて何か、なぜこうなるのかってところがあるところがあれば、教えていただきたい。 (今井委員)	子育て支援サービスや児童虐待の取組について、当区独自の施策を進めています。 新型コロナウイルス感染症の影響により、不登校や家庭の様々な課題も増え、子育て支援室への相談件数が年々増加している現状ですが、「安心して子育てしやすく、子ども・青少年が健やかに育つ環境があると感じる区民の割合」は、78%と目標達成しており、不安な時に相談できる体制や支援があると評価されたと考えています。今後も子育て支援サービスや児童虐待の取組を進めてまいります。	①
28	R4.12	第3回区政会議全体	【予算について】 来年度の予算で、ここは大きく増やして、阿倍野区として取り組んでいく事業ついて、お聞きしたい。 (中村委員)	令和5年度予算において、2025年大阪・関西万博に向けた機運醸成を図るため、各種イベント等で使用する啓発グッズの購入に加え、具体的取組の4-2-1「にぎわいとるおいのあるまちづくり」に掲げるおさんぽmapの日本語版の増刷と外国語版を作成し、発信に力を入れてまいります。	②
29	R4.12	第3回区政会議全体	【予算について】 3ページのところで、経営課題1の「安全と安心を未来につなぐ」の予算案がすごく上がってるが、内容見てないので、どんな事業を行うのか。 (高岡委員)	具体的取組1-2-3、放置自転車に関する具体的取組の一番下の「天王寺・あべの橋駅自転車駐車場の増設」を区長が建設局に依頼をしまして、区内の駐輪対策等に使える区CM予算を要求しております。今回、歩道の一部の樹木を伐採する計画があり、そこを駐輪場に転用いただけるということで、確保することに至りましたので、単年度で整備するため、予算規模が大きくなっています。	②

[分類]

- ①当年度(4年度)において対応
- ②5年度に対応予定
- ③5年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容(要約) (公表)	対応(回答) (公表)	分類
30	R4.12	第3回区政会議全体会	【位置指定道路について】 古い建物が壊されて新しい家屋が建てられ、地域の人々が通路として利用していた道があったが、塀で閉ざされて住民の避難経路が断たれました。 位置指定道路なら自由に通行ができるはずで、フェンスがあればそれを妨害するものとして撤去命令が出せるはずです。 (北村委員) (ご意見シートによる意見聴取)	計画調整局に確認したところ以下のとおりでした。 位置指定道路(建築基準法42条1項5号)と2項道路(建築基準法42条2項道路)を接続しないといけないという規定はありません。どちらも建築基準法の道であり、建物を建てる接道とはみなされますが、その通行は地権者との協議になります。あくまで私道であり、その通行権について民法上の争いになります。 ただ、計画調整局(建築企画課)としても、地域の防災面や利便性を考え、接続できる場所にはお願いしています。 本件については、防災上のことも考慮し、塀の一部分は蹴破れる素材とし、非常時には通行できるように設置されています。	④
31	R4.12	第3回区政会議全体会	【一時避難場所のインフラ整備について】 建設局長居公園事務所にて現有の公園内照明灯支柱にソーラー式防犯灯設置・ソーラー式防犯カメラ設置について地域が設置費用を出すから許可してほしいと依頼したが回答は認められないとのことだった。 一時避難場所としてインフラ整備をそもそも市が行う計画があつてしかるべきだと思うが、何の具体のプランもなく、時間ばかりが過ぎる無策の建設局は組織改編すべき。(ほかにも公園局の問題はある。) (北村委員) (ご意見シートによる意見聴取)	建設局に確認したところ、公園内照明灯支柱への防犯灯や防犯カメラの設置は認めておらず、設置希望者が柱も含めて設置するなどの一定の条件を整えて申請する必要があるとのことでした。 詳しくは、「地域防犯カメラ公園内設置許可運用要領」をご参照ください。 一時避難場所のインフラ整備については、大阪市地域防災計画及び大阪市地域防災計画アクションプランを策定し、各部署で分野ごとに対策を行っておりますので、いただいたご意見は、関係局へ情報共有いたしました。	④
32	R4.12	第3回区政会議全体会	【外国籍住民の支援について】 ウクライナをはじめ現在外国から難民として避難されている方、および外国から留学している方への必要な支援や交流を、人権、プライバシー、諸事情も考慮した上で、阿倍野区の支援の方針として加えてほしい。 (永岡委員) (ご意見シートによる意見聴取)	本市のウクライナ避難民への支援として、支援金の給付や市営住宅の無償提供等を行っています。 また、大阪国際交流センターでは、「外国人のための相談窓口」を設置し、生活についての相談や情報提供等を多言語で行っており、当区で相談を受けた場合も、内容に応じて必要な専門機関につながるように、大阪国際交流センターと連携しております。 引き続き、大阪国際交流センターおよび関係部局と連携して、避難民や留学生を含めた外国人の方々に対する必要な支援や交流の機会の提供につながるよう努めてまいります。 なお、令和3年度に策定した阿倍野区地域福祉計画の基本目標として、外国籍住民を含め、お互いが配慮し存在を認め合い支え合うことで、地域で孤立せずその人らしい生活をおくることができるような「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めることが明記されています。	④